



大志の学び舎

世田谷区立太子堂小学校



『教師は授業 家庭は愛情 地域で育つ 9年間』

成長の節目

校長 廣瀬 維謙

3月の目標

人格の完成を目指して
「あいさつ」

<安全>

- ・一年間を振り返ろう。

<保健>

- ・耳を大切にしよう。
- ・健康生活の反省をしよう。

<給食>

- ・マナーを身に付け、好き嫌いなく楽しい食事をしよう。

<あいさつ>

- ・あいさつの仕方を工夫しよう。

月日の経つのは早いもので、1年生から5年生までは、来る3月24日の修了式をもって、現学年での学びを終え、6年生は3月25日の卒業式をもって小学校課程を修了します。いよいよ進級・進学の時を迎えます。

さて、3月はその年度を締めくくる「節目」の月です。節目は、御存知のように竹の節からきています。また、「節目があるから真っすぐ伸びる。」などというようによく人間の成長にも例えられます。しかし、竹の節は成長して増えるのではなく、竹の子のときから60個ほどの節をもっているそうです。この節が成長点になり、成長点が全て伸び、節と節の間隔が広がることにより背が高くなるということです。

このことを知り、教育や子育ても、子どもが既にもっているものをどう引き出すかが大切だと改めて感じました。すなわち、子どもの成長は周囲の大人の責任がとても大きいということです。子どもの成長は、例えば昨日、一昨日、先週など短いスパンで比べても、どこがどのように成長したか、その中身はなかなか分かりません。しかし、学年初めの4月など、長いスパンで比べると「できるようになったこと」や「得意になったこと」など成長した面がいくつも見られます。

これからおよそ1か月の間で、子どもたちは今年度の学習や生活を振り返り、自身の成長を確かめる活動を行います。そのときに、「何も思いつかない」とか「全然見つかからない」という子どもがいます。そのようなときに大切なのは、前の自分と比較して、成長に気づき、自分のよさや可能性を認識させることです。そのためにも、身近にいる大人たちが成長した姿を見取り、具体的な言葉で褒め、成長したところを伝えていく必要があります。そのことが、子どもの中の「自己肯定感」や「自尊感情」を高め、どんなことにも自信をもってチャレンジする態度につながっていきます。

今年度も残り僅かですが、1年間のまとめにしっかりと取り組み、竹のように日々成長していけるよう指導や支援をまいります。御家庭でもお子さんの成長した面を確かめ、喜び合う機会を作ってみてください。

最後に、保護者・地域の皆様にはこの1年間、本校の教育活動に対して、多大なる御支援や御協力を賜り、本当にありがとうございました。今後も子どもたちのよさや可能性を最大限に伸ばしていけるよう、精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



〒154-0004

世田谷区太子堂5-7-4

電話 03(3413)4621

FAX 03(3413)4799

Email: dai004@setagaya.ed.jp